



システム設計力強化研修 のご紹介

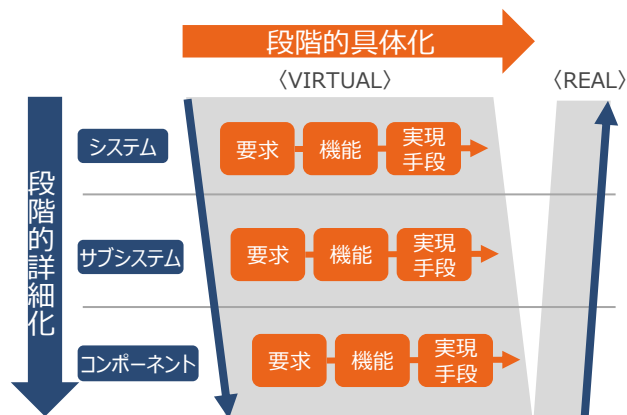
複雑な設計情報を見える化し、チームですり合わせて、品質向上と開発効率化を実現

「各サブシステムは目標を達成したが、組み合わせるとシステム目標が未達。結果、手戻りが発生する」

このような問題が起きていませんか？

システム目標をサブシステム目標に割り付けられず、各サブシステムが大まかな目標を設定して開発が進んでしまうことが主な原因です。また、異分野技術間（メカ、ソフト等）のミスコミュニケーションがこの問題に拍車をかけています。

本研修では、複雑な製品の開発で実績のあるコンサルティング知見を体系的に学んでいただきます。製品開発の段階ごとに設計情報を見える化し、共通言語とすることで、日本企業が得意とする“すり合わせ”をより効果的に行えるようになります。



概要

【本研修の狙い】

システム設計における品質向上と開発効率化を実現する考え方・手法について習得いただく。

【習得できること】

- ・システム製品の設計に必要な基本的な考え方
- ・要求定義・要求分析、機能設計、アーキテクチャ設計の進め方・手法
- ・大きな手戻りを防ぐための技術リスク抽出の進め方・手法

構成
システム設計力強化研修
動画講座

約90分

【アジェンダ】

1. はじめに
2. システム製品開発の現状と
目指す姿
3. “段階的すり合わせ”を支える
見える化手法
4. 要求定義・要求分析
5. 機能設計
6. アーキテクチャ設計
7. 技術課題抽出
8. 全体まとめ


ワークショップ

半日×3回

詳細説明
 +
 グループ演習
 +
 質疑応答



業務での実践に向けて

半日×1回

iQUAVIS 1Dayワークショップ

システム設計を支援するツールの体験セッション
 技術ばらし～不具合未然防止につなげる使い方を体感ください。

特徴

国内各メーカーでの現場導入実績を通じて洗練されたシステム製品開発技法の肝を凝縮し、実践に着手できるレベルまで理解を促すため、誰もが分かるテーマを題材にしたグループ演習にて手を動かして実践に向けて押さえるべきポイントを体感します。

- 要求整理～機能設計～実現手段検討の順に具体化していく考え方・そこでの見える化手法が学べます。また、サプライヤーや上位システムメーカーとの相互すり合わせのやり方も学べます。
- 講師の現場経験や事例も交えつつ、実際に使える考え方が学べます。
- 一般の品質管理・効率化手法（FMEA他）の質向上にも寄与する内容です。

お問い合わせは 貴社営業担当

 または株式会社 電通総研 人材育成・研修担当 (g-ex-mhrd@group.dentsusoken.com) まで